

デザイン学科

キーワード

ビジュアルコミュニケーションデザイン、グラフィックデザイン、デザイン教育、企画 / 商品開発



講師 / 造形学士

玉野 哲也

Tetsuya Tamano

学歴

武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科 卒業
FABRICA Applied Arts and Communications Research Center (イタリア)

経歴

FABRICA Senior Designer (イタリア)、UNITED COLORS OF BENETTON社 Art Director (イタリア)、武蔵野美術大学 講師、奈良学園大学 専任講師

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

グラフィックデザイン全般、新規商品企画、社会問題解決のためのデザイン

メールアドレス

tama@fukui-ut.ac.jp

主な研究と特徴

「万が一のための緊急出産キットの研究と開発」

昨今の地球温暖化を原因とした様々な自然災害や、想定される首都直下型地震、南海トラフ連動型地震などの震災のリスクに対し、今後、より防災意識を高め、個人でも普段から非常食や応急医療器具などを家に備えるなどの最低限の対策が必要となるであろう。この研究では、これら震災時に対する妊産婦への備え、特に7ヶ月妊産婦への配布を想定した緊急時における安全で清潔な出産キット（医療機器・医療キット・パッケージデザイン）の開発と、未使用となったキットの回収、及びそれらの開発途上国に対するキット支援スキームの構築を行う。

「万が一のための緊急出産キット」と名付けられた医療機器のパッケージは、臨月時の妊産婦が社会インフラが断絶するような災害や、被災により孤立を余儀なくされるような状態に遭遇した時に、医療対処法を熟知しない場合でも、清潔かつ安全に複数の医療器具を用い、適切な医療対処を行う事が出来るようデザインされた医療キットである。左から右へと使用手順ごとに一直線上にパッケージングされた数々の医療器具（写真1）は、文字を使用せず認識しやすいイラストのみで使用方法が記載（写真2）され、万が一の緊急出産時にも混乱する事なく誰にでも安全に取り扱う事ができるデザインが施されている。また、使用済み器具の使い回しができないようにする工夫や、使用済み機器の全てを再度パッケージし、医療廃棄物として封印するためのデザイン（写真3）も同時に施されている。この出産キットは、主に被災などによる緊急時における分娩時の使用を想定し研究開発されているが、被災する事なく使用されなかった出産キットを回収し、支援物資として清潔な出産が困難な発展途上国へ送る事も想定しているため、その際に必要とされるユニバーサルデザインとしての側面からもデザインされている。

これらのデザインは「外科手術、分娩、その他の医療処置に用いられる医療具を収容する医療具用容器及び医療処置に用いられる医療キットに関する発明」として特許を取得している。（特許第5265764号）



写真1. 出産キットに含まれる医療器具

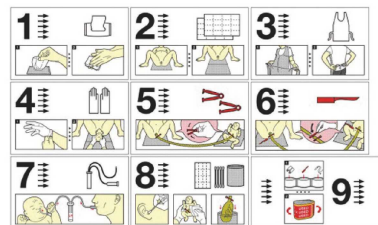


写真2. 文字を使用しない使用方法の記載



写真3. 使用済み器具を廃棄するための再パッケージ

今後の展望

国連から報告によってMDGs（国連ミレニアム開発目標）が、目標達成期限の中間にあたる平成20年の段階で、終了年度までの目標の達成が困難である事が知らされた。この研究は、当時「市民から国連への提案」としてNPOを通じて国連に提案され（平成20年12月に早稲田大学にて『デザイン現場からの提案』として発表）、それに伴い、時間をかけて企画を進展させてきた経緯がある。当面の目標としては実行可能な開発途上支援のスキームや、未使用のキット回収の為のシステムを確立させる事や、日々の医療機器の進歩に合わせ、デザインにまつわるブラッシュアップも同時に行いたい。

これらの研究はSDGs（持続可能な開発目標）に呼応した形でのプロジェクト進行を行う事を前提としている。

所属学会

日本デザイン学会 平成28年～現在まで

主要論文・著書

玉野哲也「グラフィックデザインを初めて学習する大学生のための実技課題例」P235-312 奈良学園大学紀要第3集 ISSN 0914-5575 (2015)

玉野哲也「カテゴリーを考える」P62-81、玉野哲也「メッセージを視覚化する」P114-133 白尾隆太郎 監修「graphic elements グラフィックデザインの基礎課題」武蔵野美術出版局 (2015)